

北花見自治会勉強会 & 懇親会

古賀市の課題

～市民と地域の健康づくり～

2022年11月13日（日）
古賀市議会議員 ぬま健司



FBぬまけんじ



9月議会

定例議会は年4回
臨時議会もあります
インターネット中継・録画で視聴できます

決算審査特別委員会



決算審査特別委員会



決算審査特別委員会

2022年9月13日～21日

第3回定例会



第3回定例会



一般質問

薬王寺「快生館」と子ども健診について
市長の見解を求めました
2022年9月9日（金）

2021年度決算認定に賛成討論 賛成の根拠と指摘事項を述べました 2022年9月26日の本会議

●審査の視点

- ①財政状況の評価
- ②新型コロナウイルス感染症対策
- ③古賀北中大規模改造第1期工事
- ④第4次総合振興計画最終年度、政策マネジメントシートの提出
- ⑤地球温暖化対策とゼロカーボンシティ宣言
- ⑥健康づくり

●指摘事項（11点）

- ①審議会をオンラインで開催できるための条例・規則の改正
- ②清掃工場の将来計画については財政負担・環境負荷の徹底した軽減に向けて慎重に検討すること
- ③学校施設を地域コミュニティ、まちの保健室として活用
- ④小中学生・16歳から29歳までの特定健診を実施すること
- ⑤図書司書の確保、レファレンス機能の周知、利用拡大
- ⑥対話の徹底と情報公開 など



人口減少傾向でも小中学校の統廃合は考えない

2022年9月19日・決算審査・教育長との質疑応答

児童生徒の見込は？

予想は難しいが、小中学生合わせて
2023年度がピーク

学校施設の在り方は？

地域の宝であり、統廃合は考えない。
減少傾向の学校では
複合化、多機能化、共有化を検討。
大規模改造工事の順番を変えてでも
上手な維持改修を行う。



出席議員数

17

賛成

16

反対

0

総投票数

16

○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	
奴間	福崎	清原	内場	古賀		中野	渡	吉住	竹下	平木	井之上	森本	伊東	松島	紙谷	村松	田中	結城
健司	トビオ	哲史	恭子	誠視		敦史	孝二	長敏	司津男	尚子	豊	義征	洋子	岩太	由香	謙二	英輔	弘明

補正予算

燃料費・物価高騰対策

9月補正と10月補正

9月補正予算

高齢者に米2キロ、ごみ袋10枚

高校生まで図書券3千円

就学援助費の対象拡大

畜産農家に飼料代補助

コスモス館に観光協会レストラン

移住体験促進事業

国の地方創生臨時交付金活用

2022年9月定例議会・一般会計補正予算(第2号)

21億350万2000円の増額

繰越金の確定20億1210万3千円、物価高騰対策等は2億3744万円

9月1日に大綱質疑、9月7日の補正予算審査特別委員会で詳細質疑

事業	補正予算額	内容
①電子地域振興券発行事業補助金の増	1250万円 (商工政策課)	●コロナ禍で物価高騰に直面する市民を支援。商工協会が実施する電子地域振興券発行事業を補助。(1億円から2億円へ増加)
②高齢者に米とゴミ袋	3883万6千円 (健康介護課)	●コロナ禍で物価高騰に直面する高齢者世帯の支援。高齢者(65歳以上)に一人当たり米2kgとゴミ袋10枚配布。
③0歳から高校生年代まで図書券3千円	3577万7千円 (青少年育成課)	●コロナ禍で物価高騰に直面する子育て世帯の支援。0歳から高校生年代まで一人当たり図書カード3千円分配布
④臨時的に就学援助支給対象世帯を拡大	2195万円 (学校教育課)	●コロナ禍で物価高騰に直面する低所得者の子育て世帯への支援。
⑤畜産農家に飼料代高騰分補助	930万円 (農林振興課)	●コロナ禍で飼料価格高騰に直面する畜産農家の支援。市内認定農業者に飼料価格高騰分の3/4を補助。
⑥観光協会補助金の増	500万円 (商工政策課)	●観光協会がコスモス館で実施するレストラン(市内食品工場等の加工食品を調理師提供)と特産品販売の取組を支援。
⑦移住体験促進事業委託料の追加	973万5千円 (経営戦略課)	●首都圏等からの移住定住促進策。WEBサイト作成と移住体験ツアー。
⑧SNS情報発信等委託料の追加	125万1千円 (経営戦略課)	●情報発信の強化とオンライン手続きの拡充。LINE公式アカウント開設。
歳入の内訳	●繰越額 20億1210万3千円 ●繰入金(貯金取崩し) 1204万2千円	●県支出金 1010万6千円 ●雑入 7016万2千円
歳出の内訳	●基金積立金 18億6605万3千円(財政調整基金積立金10億605万3千円、減債基金積立金2億6千万円、公共施設等総合管理基金積立金6億円) ●新型コロナや物価高騰対策 2億3744万円	

10月補正予算

非課税世帯に5万円

介護サービス提供事業所支援金
入所系3万円/人、通所系6千円/人
訪問系5万円/事業所
県の対象から漏れる市指定の施設

障がい者福祉サービス
提供事業所支援金
5万円/事業所

保育施設支援金
3千円/児童

2022年10月臨時会・一般会計補正予算（第3号）

3億9324万8000円の増額

物価高騰対策・住民税非課税世帯5万円給付で3億7592万8千円

市独自の介護サービス・障がい福祉サービス・保育施設への支援金1456万2千円

10月17日の臨時会で質疑、討論、採決を行います

事業	補正予算額	内容
①物価高騰対策等生活支援事業 (国の制度)	3億7592万8千円 (福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍で燃料費・物価高騰に直面する住民税非課税世帯等を支援するため、国の制度に沿って、緊急支援金を支給（1世帯5万円、2022年9月30日時点で住民税均等割が非課税世帯、また2022年1月以降の家計急変世帯、あわせて7100世帯を想定） ●12月上旬に確認書発送予定、12月中旬以降支給開始予定
②介護サービス提供事業所支援 (市独自事業)	9822万円 (健康介護課)	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍で燃料費・物価高騰に直面する介護サービス提供事業所支援のために支援金支給（入所系定員1人当たり3万円、通所系定員1人当たり6千円、訪問系1事業所当たり5万円） ●11月上旬案内文書発送予定、12月上旬支給開始予定
③障がい福祉サービス提供 事業所支援 (市独自事業)	40万5千円 (福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍で燃料費・物価高騰に直面する障がい者福祉サービス提供事業所支援のために支援金支給（1事業所当たり5万円、8事業所予定） ●11月上旬案内文書発送予定、12月上旬支給開始予定
④保育施設支援 (市独自事業)	433万5千円 (子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍で燃料費・物価高騰に直面する保育施設支援のために支援金支給（児童1人当たり3千円、1444人を想定） ●11月上旬案内文書発送予定、12月上旬支給開始予定
歳入の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ●民生費国庫補助金 3億7868万6千円 ●民生費県補助金 216万6千円 ●財政調整基金繰入金 1239万6千円 	

新型コロナ感染症

新型コロナ・全国で全数把握を簡略化
健康フォローアップセンターを設置（9月26日から）



詳しい報告対象外



市販の検査キット

詳しい報告の対象⇒保健所などがフォロー

- ▼65歳以上
- ▼入院が必要
- ▼妊婦
- ▼重症化リスクがあり治療等必要と医師判断

重点的に医療を提供

新

健康フォローアップセンター

092-939-1746

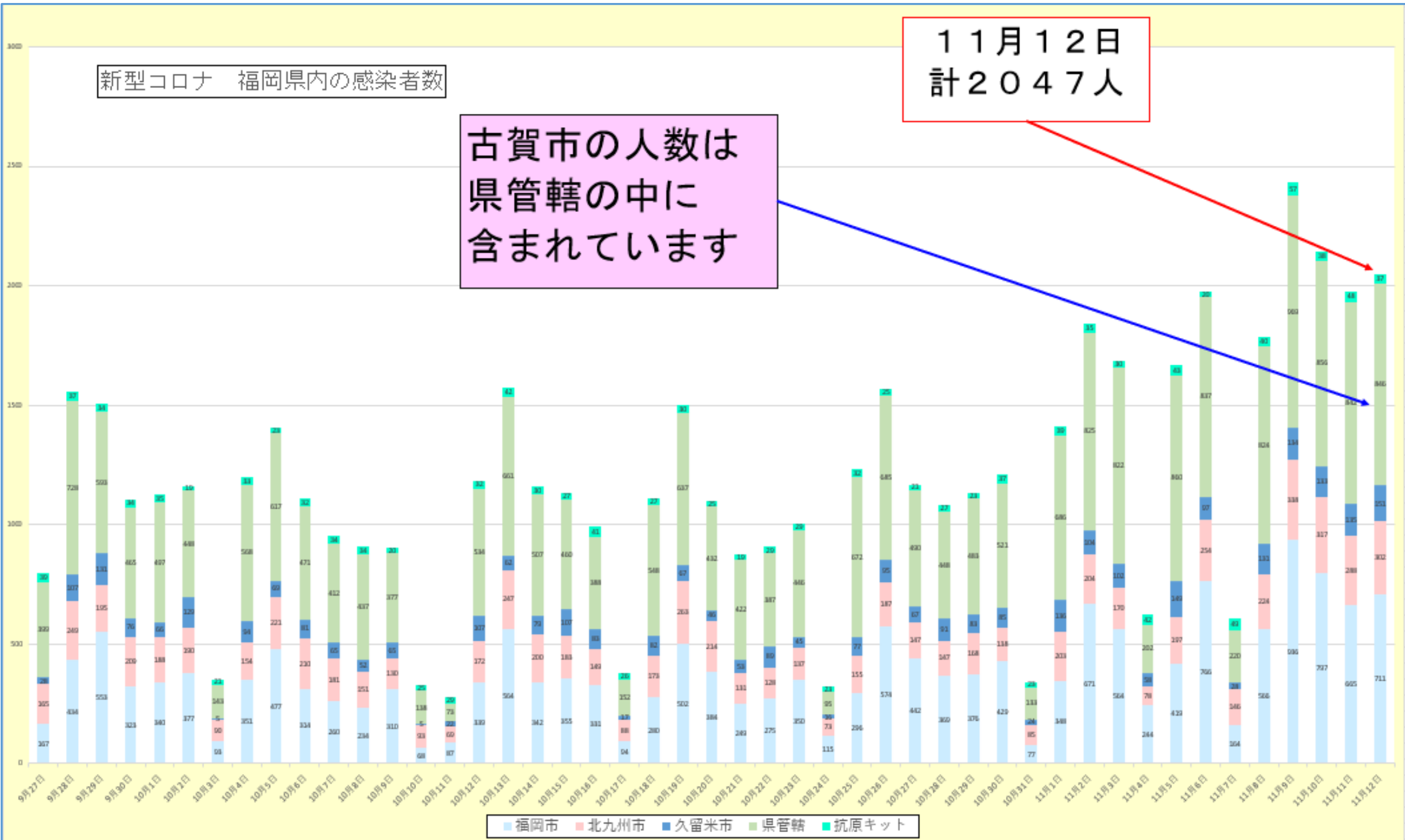
粕屋保健福祉事務所

- ▼自己検診で陽性となった方の登録
- ▼自宅療養中に症状が悪化した場合の相談、医療機関の紹介
- ▼宿泊療養施設への入所の相談
- ▼食料品等の生活支援の申込
- ▼療養証明に関する相談

新型コロナ 福岡県内の感染者数

11月12日
計2047人

古賀市の人数は
県管轄の中に
含まれています



宮地岳線跡地

宮地岳線跡地 花見南区エリアの整備計画（案）

【整備概要】

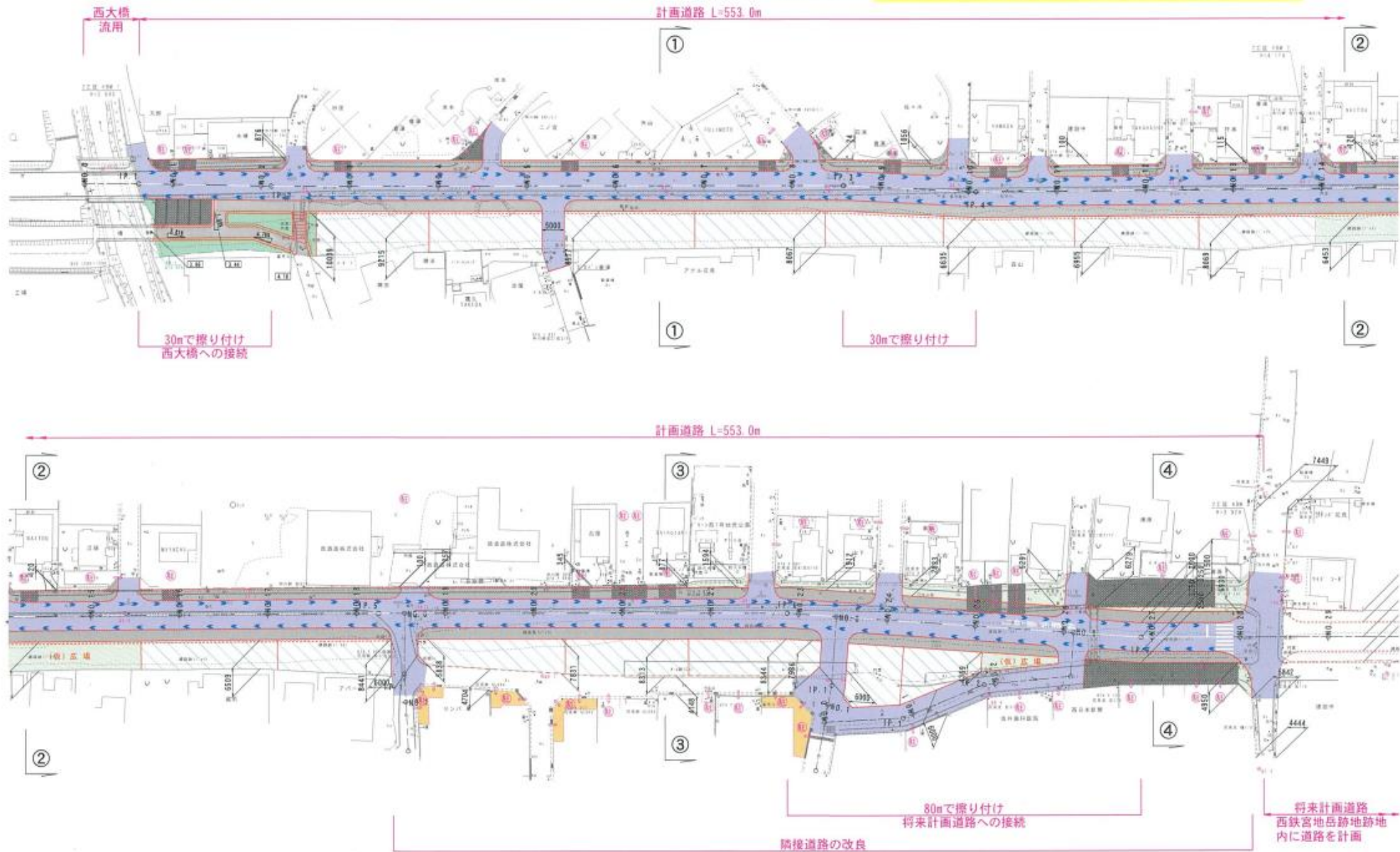
・現道及び西鉄宮地岳線跡地を利用した道路拡幅整備を行う。

整備計画（その1）

平面図 S=1:800 (A3版)

【整備方針】

- ・計画道路幅員：W=11.5m（歩道=2.5m+車道=6.5m+歩道=2.5m）
- ・海側宅地を基準（用地買収無し）とした拡幅計画。
- ・起点側（図左上）の西大橋は既設を流用。
- ・終点側（図右下）は将来計画を見越した道路計画。



宮地岳線跡地 花見東2区では住民だけで5回の ワークショップを検討

花見東2区
宮地岳線跡地活用をめぐる
ワークショップ
経過報告と今後のとりくみ

回覧

令和4年9月17日
花見東2区区長 水上好和

ワークショップ5回の経過を市長に報告



5月12日の夕方、花見東2区の宮地岳線跡地をめぐるワークショップについて田辺市長に報告しました。区から水上区長、大久保前区長、田中伸尚さん、そして奴間健司市議と平木尚子市議が参加しました。市側は田辺市長、建設産業部長、建設課長はじめ5人が対応してくれました。(左の写真はその時の様子です)

ワークショップではA案(緊急車両専用の車道と遊歩道等を整備)とB案(車道を整備)を作成しましたのでそこに至った経過を説明しました。(右の写真はその時の様子です)

市長はワークショップの営みは行政にとってありがたいと評価した上で、今回の報告を参考に行政としての考えを整理したい、今後も地域と相談していきたいと述べました。



ワークショップの全資料、A案・B案の解説図、市の宮地岳線跡地に関する説明資料を保管し、公民館で閲覧できるようにしました。ご活用ください。(裏面もお読みください)

「花見東2区のワークショップの経過と今後について」 2022年9月17日
花見東2区

跡地問題

- 進まない ●近隣の参加がない
- 地域づくりに住民が参画しない



ワークショップをやってみよう

- 区民だけで地域の課題を自由に
- 話は短く ●人の意見を聞こう
- 人の意見を否定しない



1年間で5回のワークショップ

- 延べ参加者100人を超す
- アンケートなど60人を超す
- 花見小PTCA WEB アンケート

目的① 「宮地岳線跡地の現状や活用案」や「2区の身近な問題」について自由に意見を出し合い、いろいろなアイデアをみつけること
目的② 区長の呼びかけで、花見東2区の区民だけで話し合い、区民の意見が反映された地域づくりに生かすこと
目的③ できるだけ話し合いを尽くし、跡地に関する意見を整理し、市に報告・提案すること

2021年・令和3年
第1回 5月8日(日) 20数人
第2回 6月27日(日) 20数人
第3回 10月10日(日) 20数人
第4回 12月19日(日) 10数人
2022年・令和4年
第5回 3月21日(月) 20数人



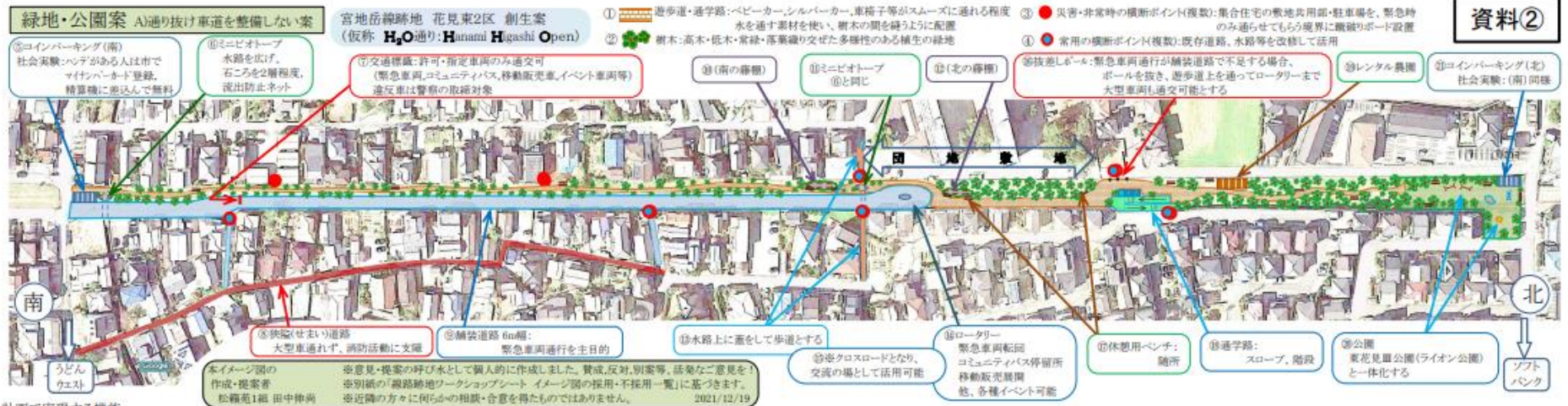
5回のワークショップの結果を田辺市長に報告
(2022年5月12日)



今後の進め方について

- ①5回のワークショップに関する資料並びに宮地岳線跡地に関する資料を整理・保管し公民館で閲覧できるようにします
- ②花見東1区や北花見区、花見南区への報告と意見交換の機会を行います
- ③A案、B案をわかりやすく整理し回覧。年内に意見集約を検討します。

宮地岳線跡地 ワークショップで検討した 花見東2区エリアのイメージ



計画で実現する機能

項目	内容	備考
① 遊歩道・通学路	・日常的に車の通りが多く、安全が必須 ・水を涵養する材料を使い、大雨時の吸水効果を持たせる	・ベビーカー、シルバーカー、車椅子等がスムーズに通れる程度 ・緑道沿いに一般車両を通さないため、ガードレール・緑石不要 ・小鳥など飛翔小動物などが住める程度の植生
② 樹木帯	・高木、低木、常緑・落葉種が交差した多様な植生を確保する ・植栽保全としての動植物多様性を確保する ・植栽保全として、吸水効果を持たせる	③ 緊急車両通行が舗装道路で不足する場合、ポールを抜き、遊歩道上を通過してロータリーまで大型車両も通行可能とする
③ 災害・非常時の横断ポイント	・集合住宅駐車共用部や駐車場等を緊急時のみ通行せしめらる	・境界に破断ボードを設置する。避難者の了解が必要 ・近隣の住民の了解が必要
④ 常用の横断ポイント	・既存の道路、水路の上を兼ねて通路とする	・緊急車両通行用、歩道として活用可能
⑤ コインパーキング	・ハンダがある人も車を登録しやすくする	・社会実験：ハンダがある人は、市でマイナンバーカードを登録すれば積算機で無料とする
⑥ ミニピオトープ	・水路を広げ、大きめの石ころ等で水生生物の住処を作る	・水質・水量等の上からのみだが、身近で観察できる
⑦ 舗装道路の通行制限	・許可、指定車両のみ通行可とする。違反車は警察の取締対象	・緊急車両、コミュニティバス、移動販売車、イベント時の車両等

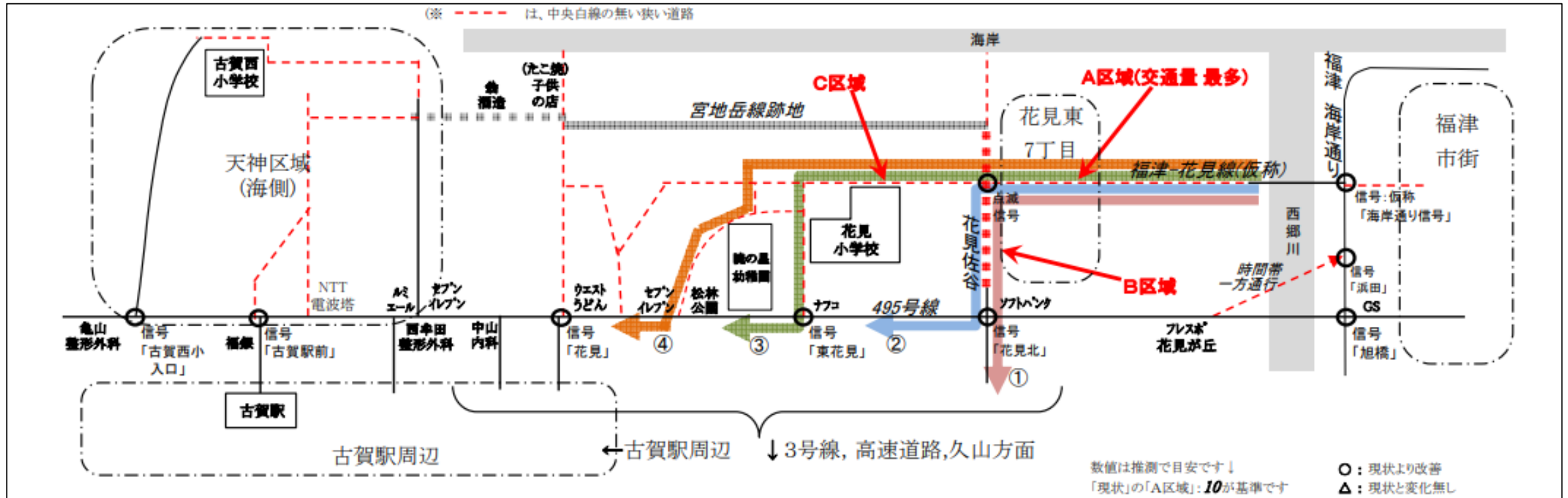


検討事項

項目	内容	備考
① 車道としての機能全般	・どれくらい交通量を制限するべきか ・どれくらい車道幅にすべきか ・中央線が必要か、否か ・車線が多いと歩道が狭くなる ・これだけの面積の雨水処理をどうするか	② 北側の計画 ・北側がどのような機能・形になるのか不明なため、どう接続すればよいか ③ 北側の歩行者の安全確保 ・現在、劣らず安全に通行できているが⑤の関係で、どうすればよいか ④ 通学路の確保 ・現在、仮設知アが設置されている。同等の通学路を確保できるか ・既存道路と併用するか、否か ⑤ 既存道路、住宅への対応(南側) ・この部分の歩道をどうすればよいか ・接する住民の利便性が助けられないか
② 歩道としての機能全般	・ガードレールが消防活動の妨げにならないか ・消防活動は大きな目的の一つ	⑥ 通学路の確保 ・スローアがなくなると道回りになり、かつ交通量の多い場所を通ることになる
③ 南側の計画との整合	・南側がどのような機能・形になるのか不明なため、どう接続すればよいか	⑦ 既存道路・住宅への対応(北側) ・接する住民の利便性が助けられないか
④ 南側の歩行者の安全確保	・現在、劣らず安全に通行できているが、③の関係で、どうすればよいか	⑧ 他者の要望・提案との共存 ・ワークショップでこれまで提案された多くの要望が共存できるか
⑤ 北側の計画との整合	・北側がどのような機能・形になるのか不明なため、どう接続すればよいか	⑨ 既存道路・住宅への対応(北側) ・既存道路と併用するか、否か ・この部分の歩道をどうすればよいか ・接する住民の利便性が助けられないか
⑥ 通学路の確保	・現在、仮設知アが設置されている。同等の通学路を確保できるか ・既存道路と併用するか、否か	⑩ 他者の要望、提案との共存 ・ワークショップでこれまで提案された多くの要望が共存できるか
⑦ 既存道路、住宅への対応(南側)	・この部分の歩道をどうすればよいか ・接する住民の利便性が助けられないか	⑪ 既存道路・住宅への対応(北側) ・既存道路と併用するか、否か ・この部分の歩道をどうすればよいか ・接する住民の利便性が助けられないか
⑧ 他者の要望・提案との共存	・ワークショップでこれまで提案された多くの要望が共存できるか	⑫ 既存道路・住宅への対応(北側) ・既存道路と併用するか、否か ・この部分の歩道をどうすればよいか ・接する住民の利便性が助けられないか

資料②

宮地岳線跡地 花見小周辺の車の流れ



市民建産委員会報告（2022年10月24日）

花見佐谷線 2022年度中に詳細設計、2023年度に用地測量

場 所	花見佐谷線の旧3号線・花見北交差点からビレッジハウス古賀付近までのエリア
業務内容	花見佐谷線の拡幅に向けた詳細設計業務委託
工 期	2022年7月5日～2023年1月31日
委託料・委託先	1320万円・福岡建設コンサルタント株式会社
備 考	2023年度に用地測量を予定。拡幅工事完了見込みは用地買収の時間も含め10年位



花見佐谷線（ブラムガーデン横）
詳細設計に向けて測量が行われて
いました（10月24日撮影）



詳細設計の対象エリア

市民建産委員会報告（2022年10月24日）

JR千鳥駅ロータリー整備 現在詳細設計、来年度施工予定

浜山1号線は1車線部分の車線化を予定

場所	千鳥駅東口周辺
工事内容	詳細設計業務委託進行中、2023年度施行予定 ※埋蔵文化財発掘調査も予定されていて、その結果次第では工程に変更もありうる
備考	浜山1号線は現在2車線部分と1車線部分があるが、駅前整備と併せて2車線部分を広げる予定（右下の地図の青く囲んだ部分）



千鳥駅東口整備と共に
2車線化される浜山1号線



駅前ロータリー
予定地

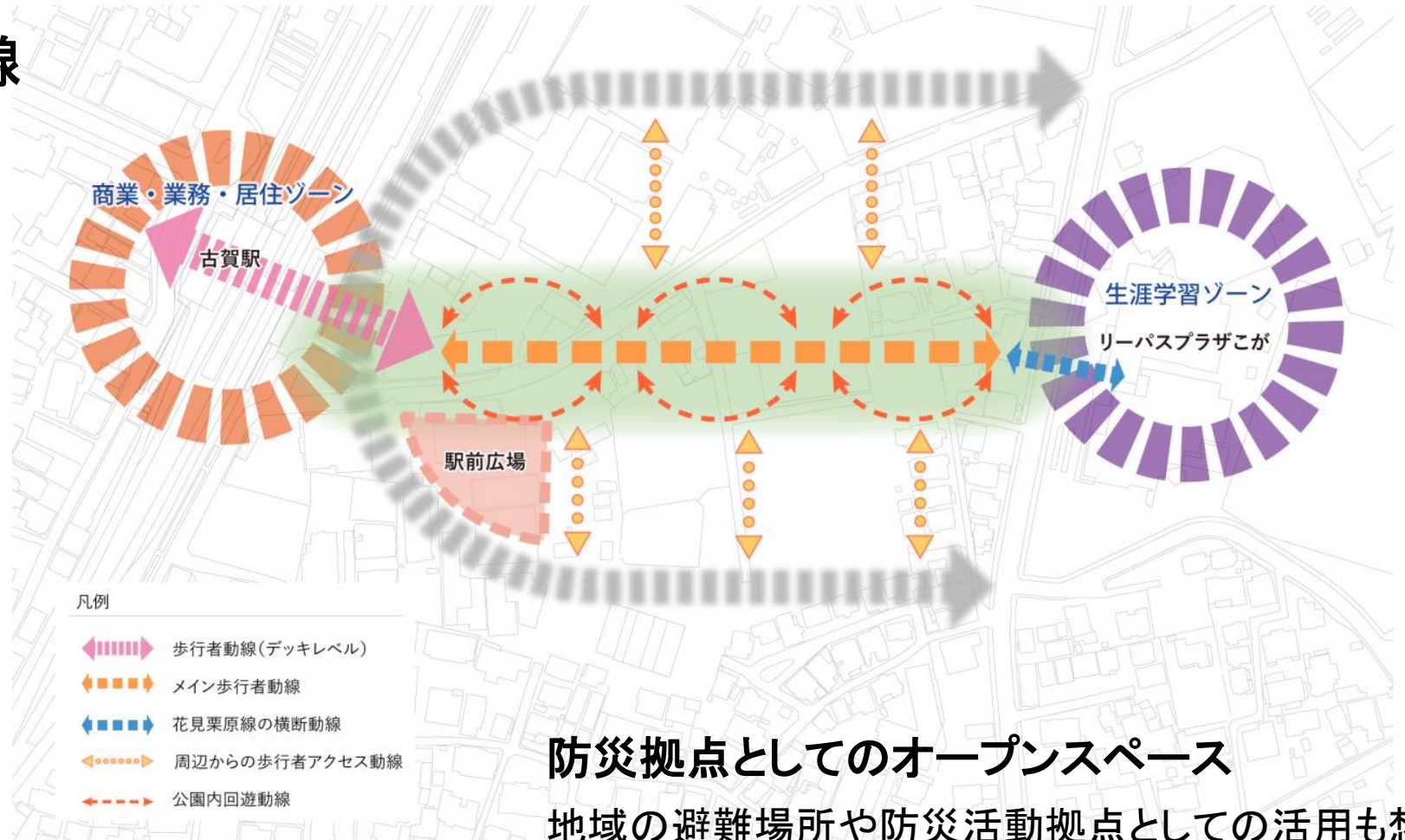
浜山1号線で
2車線化の所

集合住宅
建設

整備基本計画

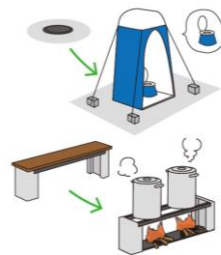
回遊性を高める歩行者動線

メインの歩行者動線は、駅から生涯学習ゾーンへと人々を導く接続性を与えます。また、隣接敷地からも公園にアクセスできる敷地内歩行者通路の設置を誘導します。あわせて公園と生涯学習ゾーンの間を横切る花見栗原線の円滑な渡り方を検討していきます。公園内の動線は機能配置と合わせ、「歩くこと」を誘発する動線計画とします。



防災拠点としてのオープンスペース

地域の避難場所や防災活動拠点としての活用も想定し、十分な広さを確保するとともに、マンホールトイレやかまどベンチなどの防災設備や、備蓄倉庫の設置などによる防災機能の強化を図る計画とします



古賀駅東口、西口並びに千鳥駅に関する予算

予算項目	予算額
古賀駅周辺 整備事業費	1億366万9千円 (内訳) 古賀駅東口周辺基盤整備予備設計委託 7005万6千円 古賀駅西口駅前広場整備検討委託 2025万7千円
古賀駅西口 エリア マネジメント 支援事業	6820万円 (内訳) エリアマネジメント支援委託 1485万円 拠点形成事業補助金 4818万円 空き店舗改修補助金 500万円
古賀駅西口 予算の累計	9460万円 (債務負担行為、拠点形成補助、空き店舗改修補助)
千鳥駅 周辺整備事業	1億4093万円 (令和3年度繰越予算を含む)

千鳥苑

公共施設等総合管理計画【第1期アクションプラン】

2014年4月
総務大臣通知・策定要請

2060年までの40年間に総延べ床面積を約2割圧縮
コスト面では約54億7千万円の削減

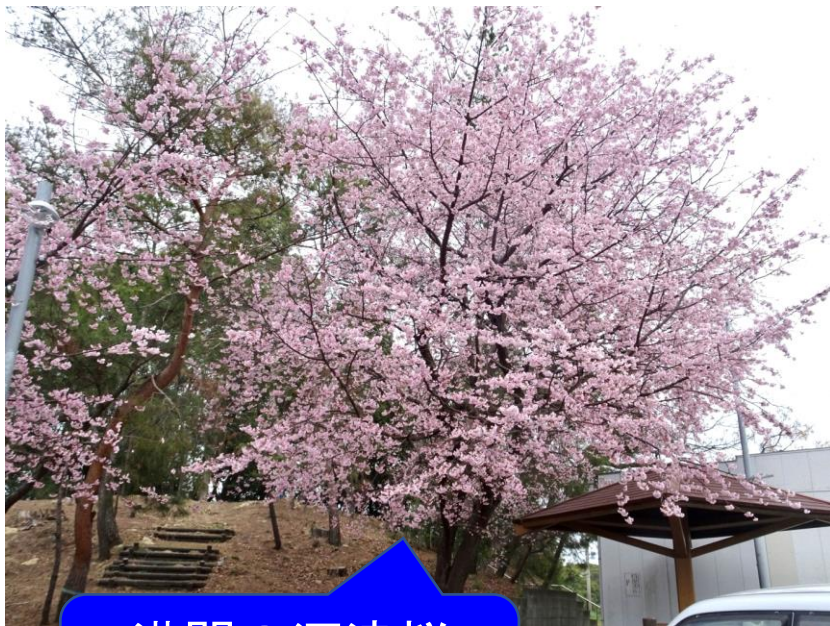
2017年3月策定

第1期アクションプラン:2021年度～2030年度

2021年8月原案
2022年1月決定

施設名	面積 m ²	機能	建物	備考
市民体育館	1 1 7 5	移転を検討	廃止を検討	<p>計画期間内に、 関係団体と協議を行い、 施設の方向性について 明らかにする</p>
クロスパルこが	7 2 4 2	維持	複合化を検討	
米多比児童館	4 3 3	移転を検討	廃止を検討	
あすなろ教室	6 6	移転を検討	廃止を検討	
市民活動センター	4 5	移転を検討	廃止を検討	
千鳥苑	1 5 4 6	移転を検討	廃止を検討	

2022年度に築45年



満開の河津桜
季節を感じる場



食事コーナー

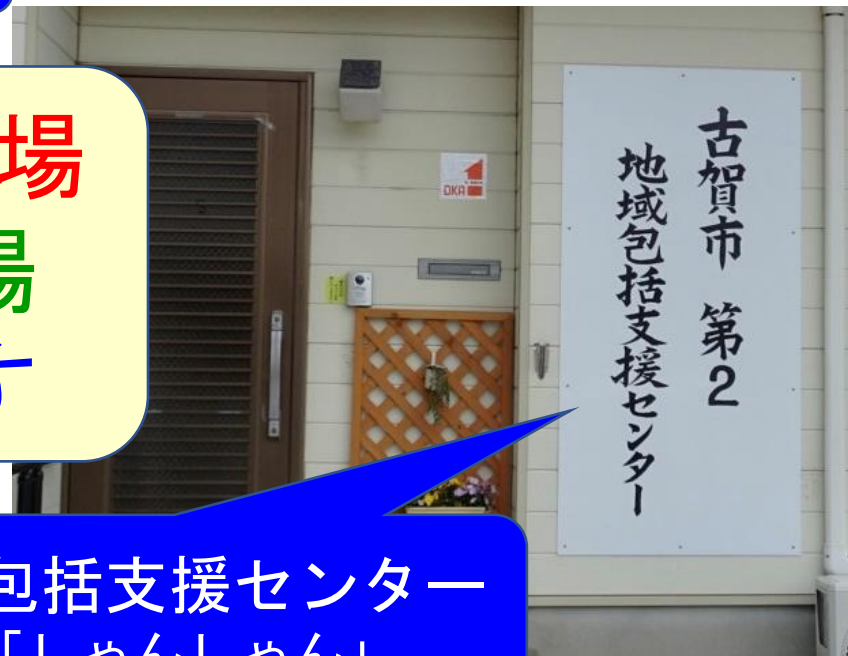


将棋・囲碁・マージャンを楽しむ方も



入館料150円でお風呂にも入れます

千鳥苑は笑顔になる場
息抜き、生き抜く場
地域共生の拠点です

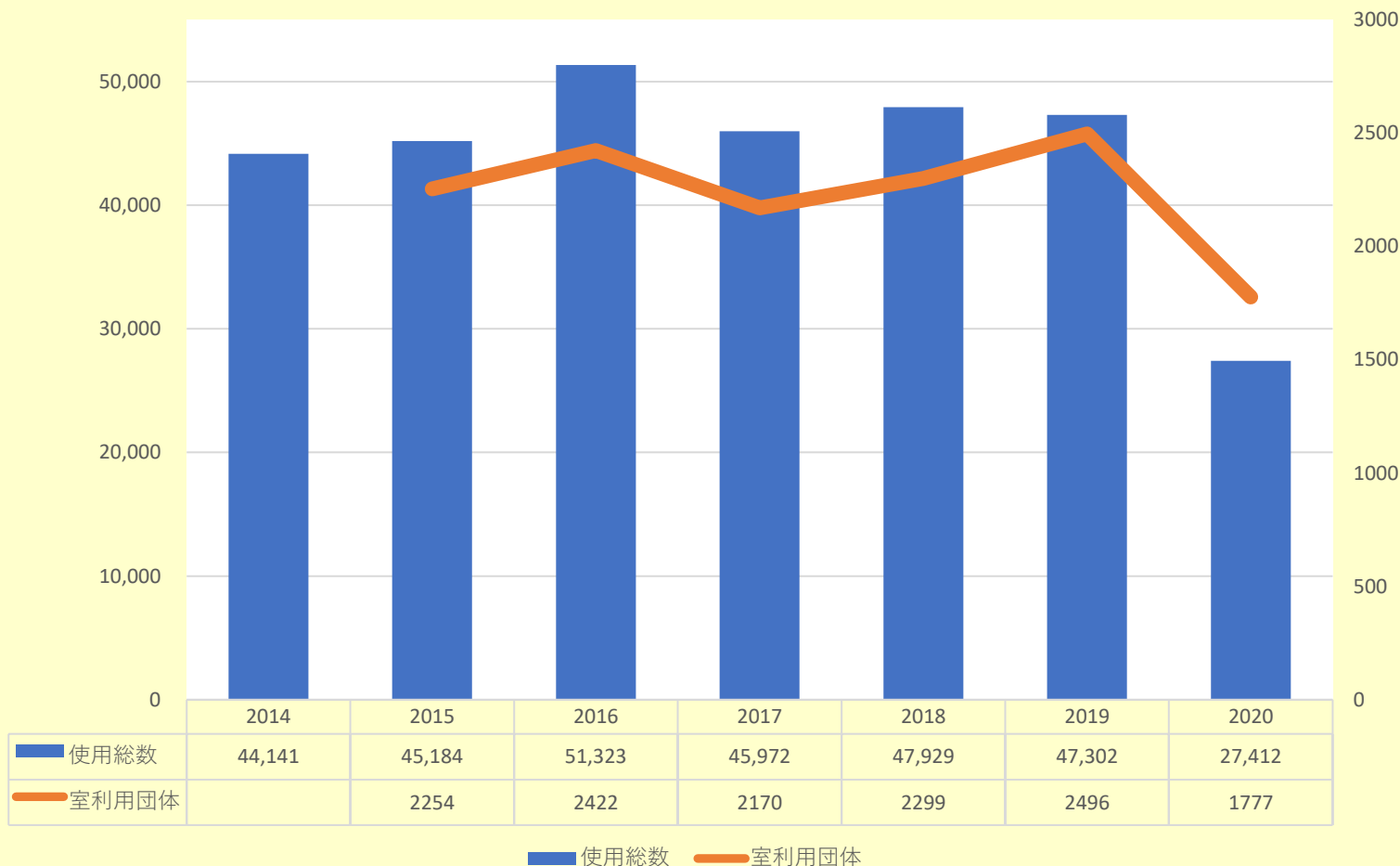


第2地域包括支援センター
隣には「しゃんしゃん」

千鳥苑

年間4万人から5万人の利用者

千鳥苑・利用者総数と室利用団体数



高齢者の居場所

コミュニティの場

こどもの利用

送迎バスの活用

避難所の役割

包括支援モデル
共生社会の拠点

千鳥苑の存続を求め 7200人の署名を提出

2022年9月21日

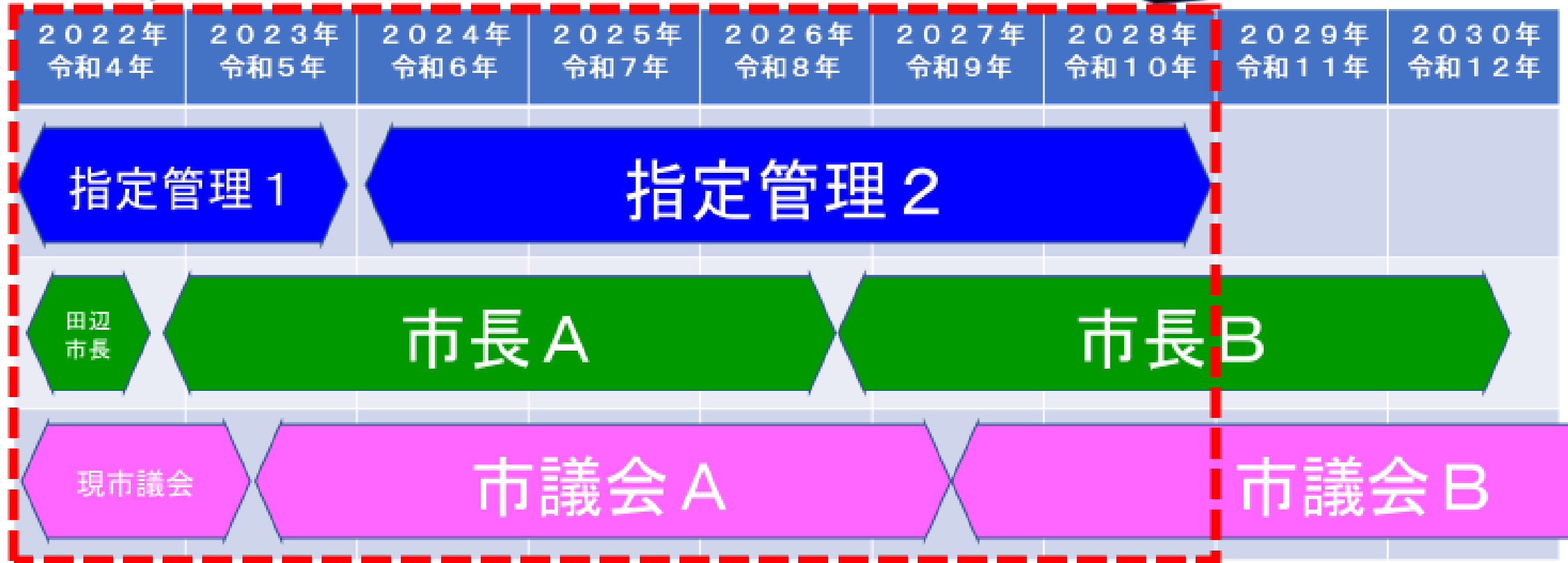
千鳥校区コミュニティ会長と千鳥校区、
花見校区、舞の里校区の代表区長



千鳥苑存続 来期の市長、市議の責任重大

存続求める署名

今から7年の間に結論を出す



藥王寺・快生館

管理運営委託

SALT

5年間

1億2897万円

入居者・利用者

賃貸借契約

(株)快生館

古賀市
田辺市長

サテライトオフィス等
誘致促進委託

3年間

4575万円

進出企業定着
地域活性化支援委託

1年間

3000万円

あわえ

SALT・あわえ
他2社

● 2021年9月1日～
2026年3月31日

● 家賃計1920万円

1期工事	5000万円
2期工事	3500万円

薬王寺「快生館」これまでの予算額

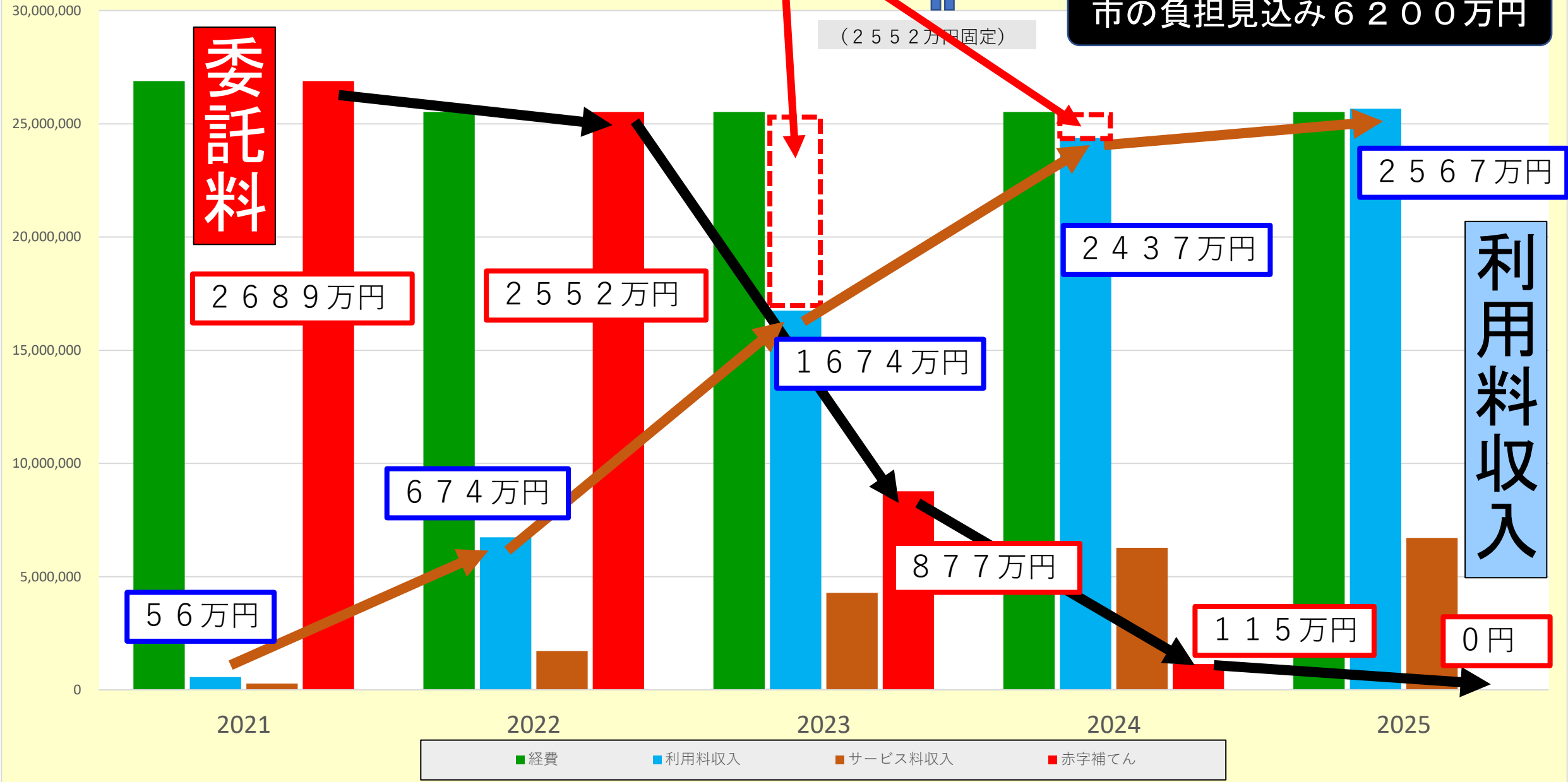
年度	予算額	財源
2020	5,221万8千円	国
2021	8,543万7千円	国
2022	7,320万1千円	国 一部市
合計	2億1,085万6千円	550万円

薬王寺「快生館」収支見込 (株)SALT作成

2022年5月9日議会提出

市の負担 = 経費 - 利用料収入 (2023年度以降)

市の負担見込み 6200万円



委託料

利用料収入

■ 経費 ■ 利用料収入 ■ サービス料収入 ■ 赤字補てん

薬王寺・快生館 経営主体の形成を提言

2022年9月9日・一般質問

経営責任者はだれか？

管理運営を委託している株式会社
SALT。契約仕様のチェックは市。

契約期間内に経営主体を確立すべき

今後の進捗状況を見て検討する



快生館 来期の市長、市議の責任重大

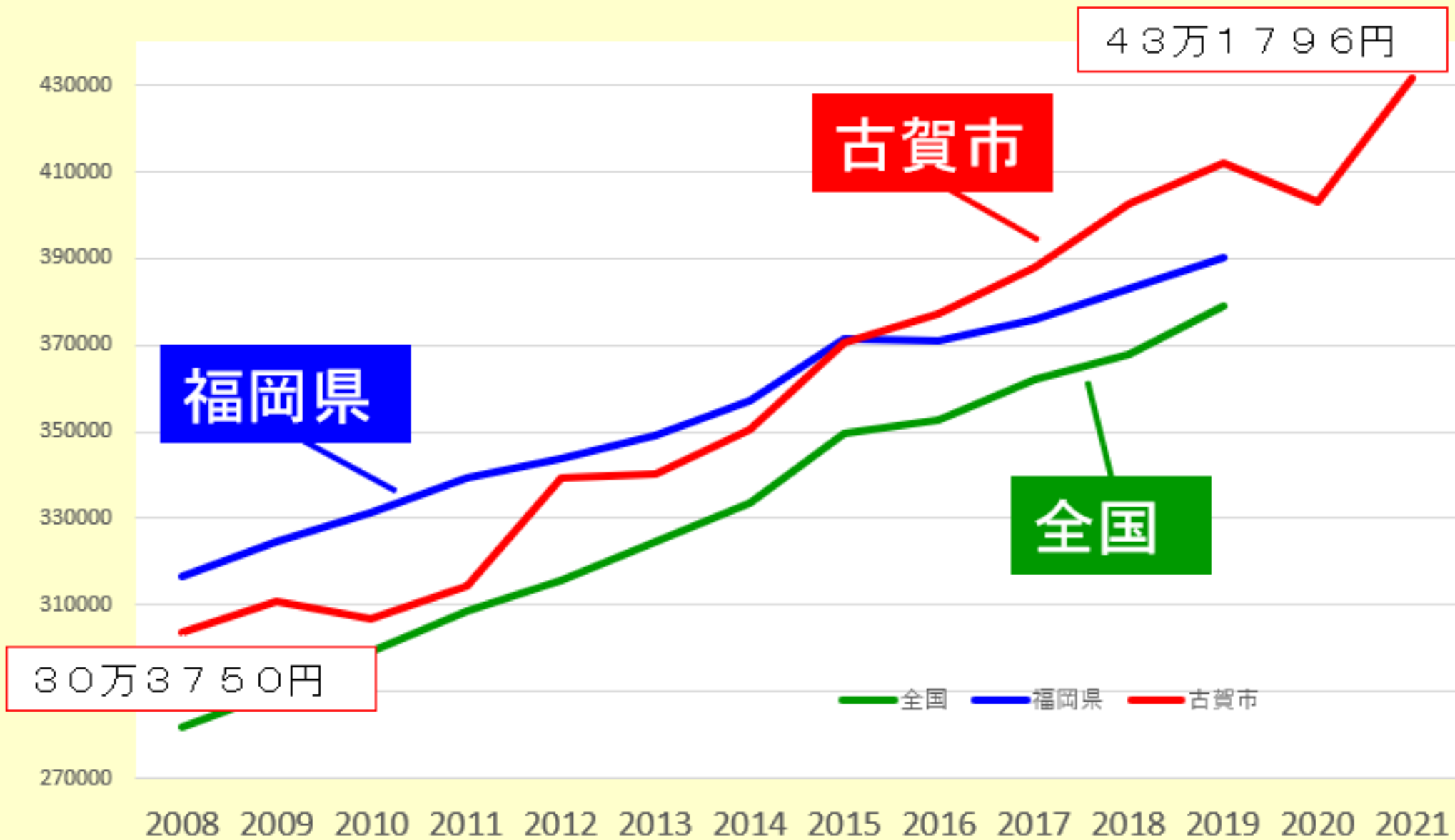
2億1千万円投資

2025年度末で契約解除・明渡し



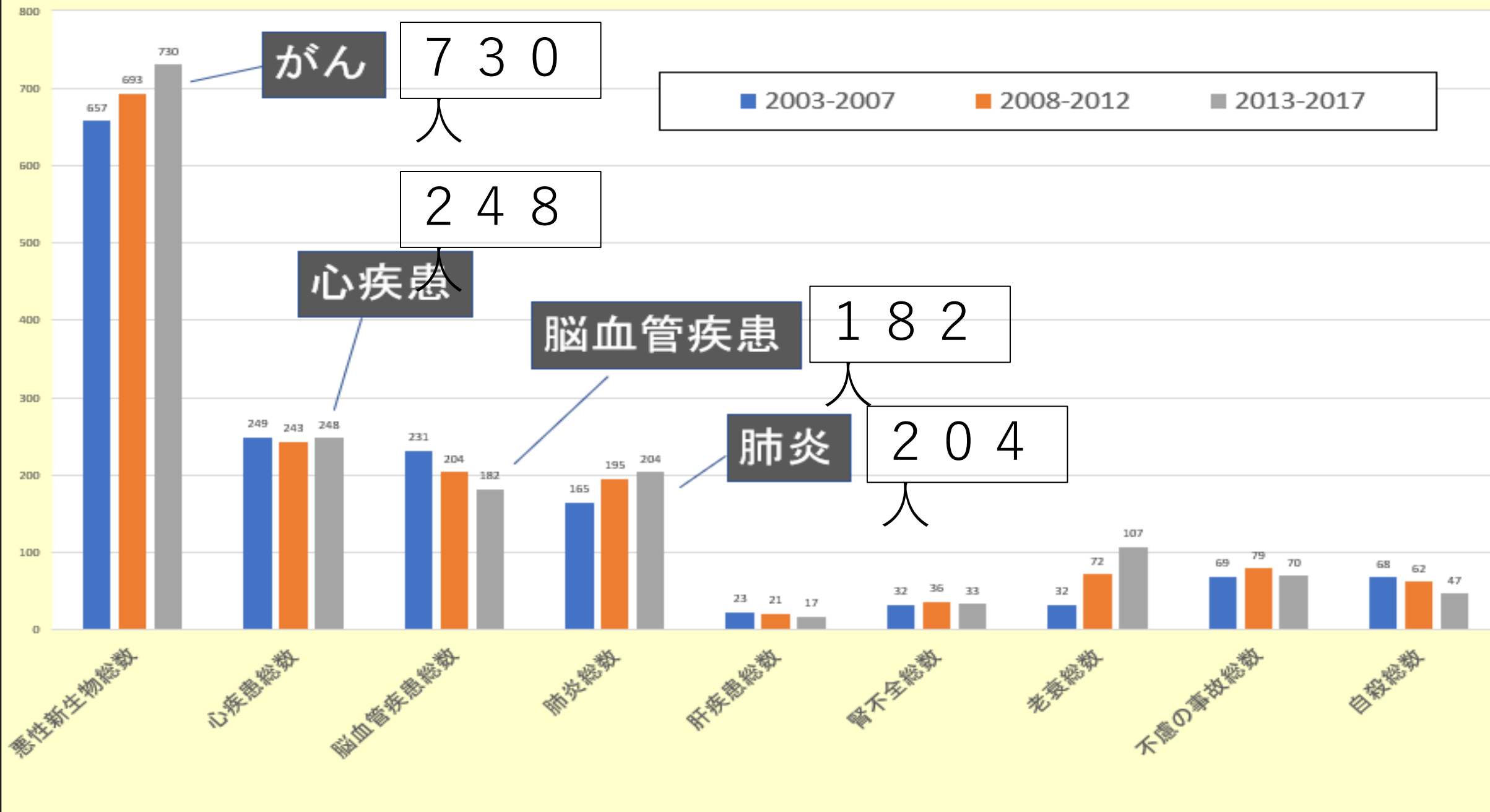
子ども特定健診

国民健康保険被保険者一人当たり医療費（年額）の推移



古賀市の国保一人当たり医療費
13年間で42%増

古賀市・死因別死亡者数の推移・人口動態保健所・市区町村別統計



妊娠
胎児期

0
歳

3
歳

6
歳

1
2
歳

1
8
歳

2
0
歳

3
0
歳

4
0
歳

6
5
歳

7
5
歳

妊婦健康診査

こんにちは
赤ちゃん訪問

赤ちゃん健診

乳幼児健診

学校健診

特定健診

後期高齢者健診

子育て支援課

教育委員会

健康介護課

妊娠
胎児期

0
歳

3
歳

6
歳

1
2
歳

1
8
歳

2
0
歳

3
0
歳

4
0
歳

6
5
歳

7
5
歳

妊婦健康診査

赤ちゃん訪問
こんにちは

赤ちゃん健診

乳幼児健診

学校健診

血液検査

若者健診

特定健診

後期高齢者健診

子ども未来課 (案)

健康づくり課 (案)

子ども対象の血液検査 他自治体の取組

宇美町	小5、小6、中2	2018年～
香川県	県内全市町、小4	2012年～
尼崎市	11歳、14歳	2010年～
松本市	小4、中2 保健師の出前講座	2013年～

小中学生、16歳から29歳までの特定健診を提言

2022年9月9日・一般質問



3年前に提言したがどうなったか？

重要性は認識している。学校健診、インボディ活用を考えている

しかるべき時に検討と答弁していたが、今こそその時ではないか？

しかるべきときではないと判断

私の想い

次期古賀市長選 ～私の想いと覚悟～

(骨子)

2022年11月7日

古賀市議会議員 奴間健司

- 市議としての責務を全う
- 市政適正化と政策提言の3年半
- 議会力アップをさらに追求
- 次世代育成と市民力アップに力尽くす
- 進化・成長に挑み生涯現役めざす

※全文をホームページに掲載しました

市長選挙の日程

- 11月20日(日) 告示
- 11月27日(日) 投開票

市議選挙の日程

- 2023年
- 4月16日(日) 告示
- 4月23日(日) 投開票

3月

6月

9月

テーマ	検証すべき点	ぬま健司の提言
国との関係	<ul style="list-style-type: none"> ◆国の要請や交付金活用に前のめりでは。 ◆市の主体性、計画性、市民対話が阻害されていないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●国との関係ではいい意味で手を抜き、将来ビジョンに基づき、地域や市民生活に応じた政策を優先することが肝心。
庁内議論 会議録	<ul style="list-style-type: none"> ◆庁議や課長クラスの議論が不十分 ◆会議録は検証可能な内容になっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ●幹部職員の議論を徹底すること。デジタル化で速やかに会議録を作成し、政策決定過程を「見える化」すること。
市民対話	<ul style="list-style-type: none"> ◆対話の場は増えても本当に傾聴する姿勢はあるのか。 ◆説得会になっていないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「結論ありき」ではなく、対話を通じてより良い政策を作るべき。市民アンケート、ワークショップの積極的活用を。
千鳥苑	<ul style="list-style-type: none"> ◆「移転・廃止」案は千鳥苑の役割を台無しにするのでは。 ◆介護予防、地域コミュニティに逆行。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後ますます必要な地域共生社会の拠点として、民間との共同も含め千鳥苑を存続。活用することが最善の策。
総合計画	<ul style="list-style-type: none"> ◆目標や重点が不明確で市民の関心が低い ◆平和と国民保護の記載が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ●第5次総合計画は始動したばかりだが、ウクライナ情勢、新型コロナ、物価高騰など受け修正・補強が必要だ。
薬王寺 快生館	<ul style="list-style-type: none"> ◆2億円超の税金投入を市民は納得しない ◆有益費の放棄や契約解除後の構想がない 	<ul style="list-style-type: none"> ●国の交付金の使い方を検証すべき。ここに多額の税金を投入した市長判断に対し市民の信を問うべき。
快生館	<ul style="list-style-type: none"> ◆将来の構想が不明 	<ul style="list-style-type: none"> ●契約期間内に経営主体を形成すべき
子ども健診	<ul style="list-style-type: none"> ◆3年前に提言したが全く進んでいない ◆健康課題の認識で危機感が薄い 	<ul style="list-style-type: none"> ●小中学生、16歳から29歳までの特定健診の実現

10年後、どのような地域をめざすの？

現状

- 自治会やコミュニティ、福祉会等が頑張っている
- 健康づくり推進員や食生活改善推進員が頑張っている
- コロナ禍で地域のつながりの難しさを経験

10年後

- 少子化、超高齢化が進む
- 自治会やボランティアの担い手の高齢化が進み、後継者が不足する
- 孤立化がますます進む
- 市内における地域間の格差が広がる

備え

- 市内8小学校に「支えあいセンター」設置
- センターに地区担当保健師、地域づくり推進員を配置
- 自治会や地域ボランティアとの協力体制の構築
- 地域と行政の距離が縮まる

古賀市の未来を考え、行動する市民は増えているか？

他の自治体

ワークショップ

無作為抽出・公募

地域単位の未来会議

課題を学ぶ

未来を語る

役割を考える

ワクワクする未来像

よしっ！やろう

子どもも読める計画

古賀市

タウンミーティング

市長への質疑

要望

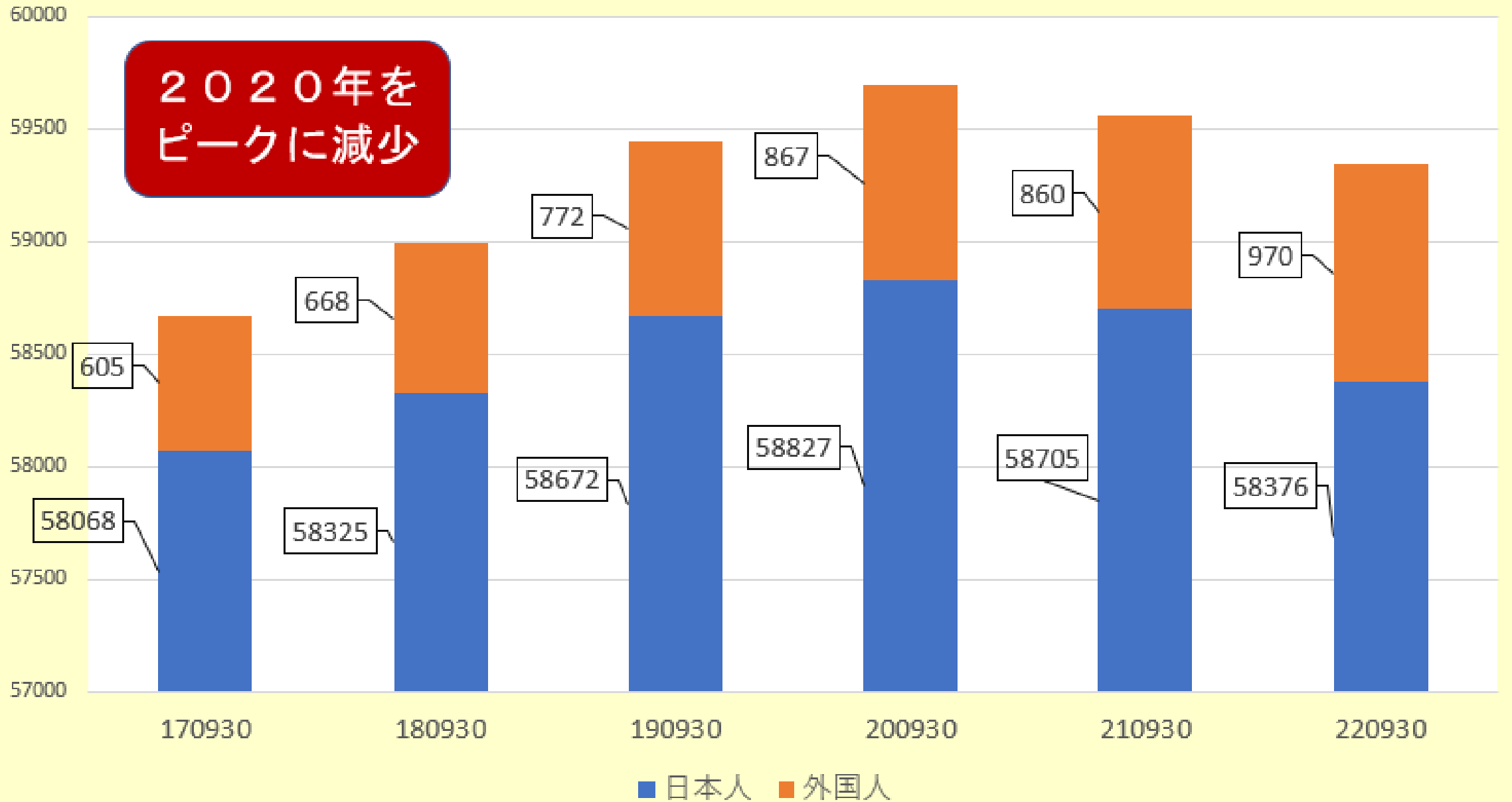
市長 = 市内全域
市民 = 1回きり

行政のやること？

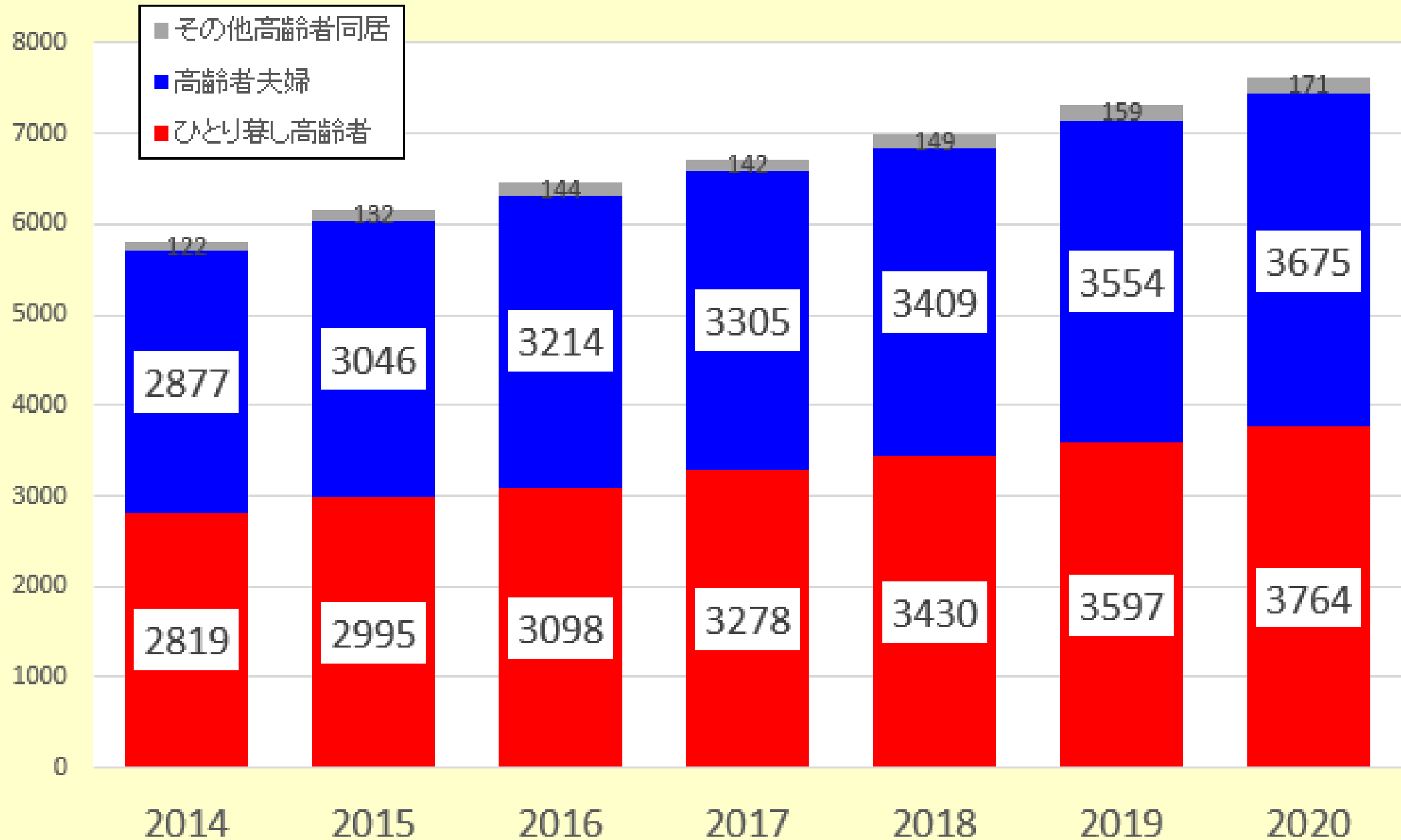
私は何をやるの？

読めない計画

古賀市の過去6年の人口推移（日本人と外国人内訳、9月末時点）



急増する高齢者のみ世帯



田辺市長の次期市長選に向けた政策

◆産業力の強化と移住定住の促進

- ◎交通結節点の「地の利」を活かした適正な土地利用と企業誘致の推進
- ◎古賀駅周辺活性化と「コンパクト・プラス・ネットワーク」の形成

青柳迎田地区で工業団地形成検討
古賀中周辺市街化検討・居住機能強化

古賀駅東口開発推進、薬王寺快生館

◆チルドレンファースト

- ◎すべての子どもと子育て家庭を見守り、包括的に支える体制を強化
- ◎子どもの医療費助成を拡大し、就学前を無料化
- ◎子どもの学びと育ちをきめ細かく支え、「生き抜く力」を伸ばす

妊娠期から出産、乳幼児期支援

3～6歳無料化、18歳拡大検討

校舎改修、トイレ洋式化・多目的化

◆誰もが健康で安心して暮らしていける地域社会

- ◎超高齢化社会に対応し、健康づくり・介護予防、地域福祉を推進
- ◎ゼロカーボンシティとして環境にやさしいまちへワンヘルス推進
- ◎デジタル推進による市民サービスの向上
- ◎人権と多様性（ダイバーシティ）を尊重、平和を希求する先進都市へ

移動困難高齢者ゴミ出し支援
専門職包括的相談支援体制

市役所手続きオンライン化推進

ジェンダー平等、中村哲さん顕彰

◆危機管理の徹底

◆「オール古賀」のまちづくり

シティプロモーション強化

田辺市長の次期市長選に向けた政策

◆産業力の強化と移住定住の促進

◎交通結節点の「地の利」を活かし、適正な土地利用と企業誘致の推進

◎古賀駅周辺活性化推進

青柳迎田地区で工業団地形成検討
古賀中周辺市街化検討・居住機能強化

古賀駅東口開発推進、薬王寺快生館

◆チルドレンファミリー支援

◎すべての子どもと子育て家庭を見守り、包括的に支える体制を強化

◎子どもの医療費助成を拡大し、就学前を無料化

◎子どもの学びと育ちを支援し、地域と連携して取り組む

妊娠期から出産、乳幼児期支援

3～6歳無料化、18歳拡大検討

校舎改修、トイレ洋式化・多目的化

◆誰もが健康で安心して暮らす

◎超高齢化社会に対応し、地域づくりと介護予防、地域福祉を推進

◎ゼロカーボンシティとして環境にやさしいまちへワンヘルス推進

◎デジタル推進による市民サービス向上

移動困難高齢者ゴミ出し支援
専門職包括的相談支援体制

市役所手続きオンライン化推進

◎人権と多様性尊重

ジェンダー平等、中村哲さん顕彰

◆危機管理の徹底

◆「オール古賀」のまちづくり

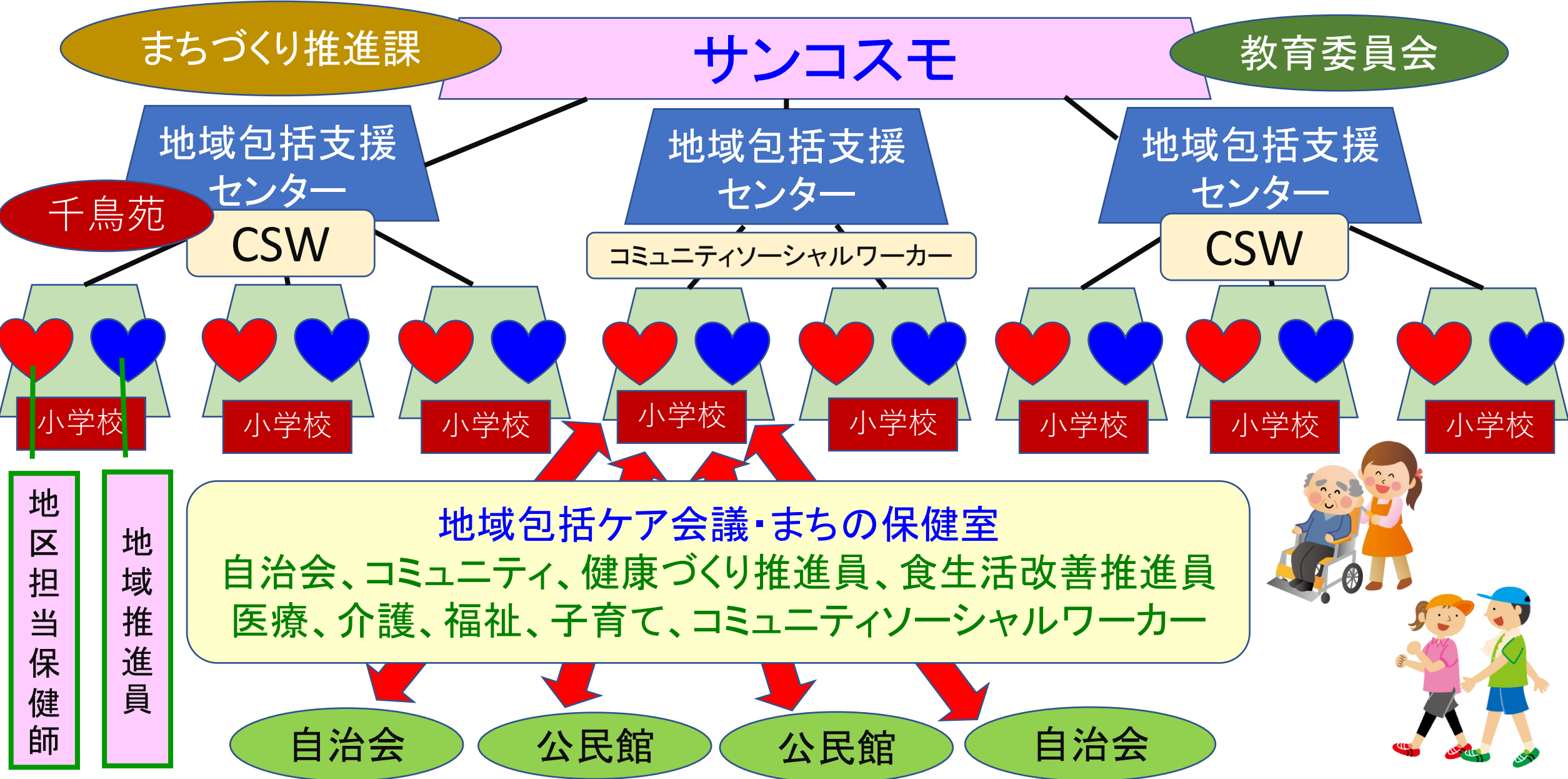
シティプロモーション強化

地域づくり

健康づくり

人材育成

地域支え合いセンター・まちの保健室構想



議 会

古賀市議会の歩み

模索

1995年

- 「議会だより」の発行
- 議会閉会中の所管事務調査
- 一日一委員会の開催
- 議長裁量による一問一答

検討

2007年

- 議会活性化特別委員会
- 議会基本条例の視察研修
- 三重県議会事務局次長による研修会
- 「基本条例は、来任期における重要な検討課題」

実現

2011年

- インターネット中継・録画配信の開始
- 2014年4月、議会基本条例の施行
- 災害対応要綱や看護大学とのパートナーシップ協定

定着

2015年

- 議会改革の定着、継続
- まち・ひと・しごと地方創生対応
- スマホ、iPad対応
- 政策推進会議提言

継続

2019年

- 議会改革の継続
- 政策推進会議・気候変動
- コロナ対応と基本条例検証
- オンライン対応
- 「大綱質疑」の定義
- タブレット導入

二元代表制

議会の議決

市長

議会の提言

専門分野

委員長

委員長

監査

議長

委員長

委員長

委員長

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

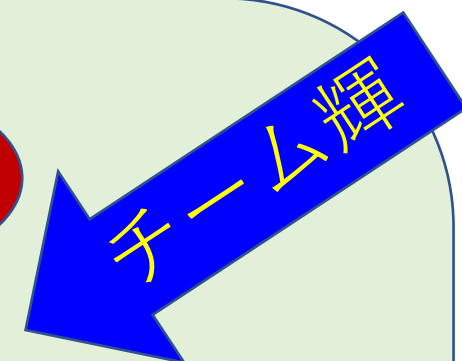
議員

議員

議員

議員

議員



議会機能の向上目指し先進議会視察

犬山市議会視察

10月11日

市民が議場で5分スピーチ
全議員が市民提言を受け止める

来年の
予算審査に
活かさないか

可見市議会視察

10月12日

決算審査から議会として
提言を提出
次年度予算に反映

第13回
市民フリースピーチ
発言者募集

テーマ 犬山市の市政全般・一般事務など

犬山市を良くする素敵なアイデアを、議場でスピーチしませんか！みんなで住むまちだから、みんなの目線で気が付いた提案をお待ちしています。

「中学校制服で、女子もズボンがほしい！」そんなスピーチから、中学校の制服が変わりました！
【第4回フリースピーチ】

募集期間 令和4年4月25日(月)~令和4年5月24日(火)午後5時(必着)

【発言時間】1人5分以内 【定員】7名(応募多数の場合は抽選。ただし発言内容により許可できない場合があります) 【応募資格】市内在住・在勤・在学(年齢制限なし) 【申込方法】所定の申込書(市ホームページからダウンロード、または議会事務局にて配布)を議会事務局(市役所6階)に持参・メール・FAX・郵送のいずれかの方法で 【注意事項】発言に関する資料の配布を希望される方は、申込時に1部ご提出ください。(配布資料はスピーチ時に使用するもので、A4両面1枚まで)

【お問合せ】犬山市議会事務局(市役所6階)
〒484-8501 犬山市大字大字東畑36番地
電話 0568-44-0307/FAX 44-0368
Eメール 300100@city.inuyama.lg.jp

日時 令和4年6月13日(月)
午後3時30分から
場所 犬山市役所6階 議場

予算決算審査サイクル

予算決算委員会：議員20人で構成(議長・監査委員を除く)

市長へ通知(本会議場)

「チーム輝」 はじめの一步

8月27日にフォーラムを開催しました



「チーム輝」は

- ①学習と相談を重視します
- ②チームで協力して実行します
- ③各自の得意分野を生かします
- ④対話によるまちづくりをめざします

当面の目標は議会の活性化

チーム輝
メンバー



- ぬま健司 (市議7期、花見東2区)
- たきぐち由美子 (水泳指導者・舞の里4区)
- 田中やすひろ (介護職員・花見東2区)